

応答の対話行為に基づく対話システムの改善（研究の進捗発表（シニア（大学4年生以上），概要講演あり，新規発表））

著者	中野 理智，綱川 隆司，西村 雅史，西田 昌史
雑誌名	情報学シンポジウム2020
巻	2020
発行年	2020-12-25
出版者	情報学シンポジウム2020実行委員会
著者版フラグ	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028316

応答の対話行為に基づく対話システムの改善

中野理智（静岡大学情報学部情報科学科）、
綱川隆司（静岡大学大学院情報学領域）、
西村雅史（静岡大学大学院情報学領域）、
西田昌史（静岡大学大学院情報学領域）

雑談型対話システムでは、ユーザの幅広い発話に応答する必要があるため対話の破綻が発生しやすい。既存研究には、文脈を考慮するためにシステム応答生成に話者の発話意図を表す対話行為を用いるものがある。本研究では、特にシステム応答発話の対話行為（以下、応答の対話行為）に着目し、次のシステム応答をどのような意図に基づいて生成すべきか推定する。階層型 RNN を用いたモデルで応答の対話行為推定を行い、推定結果を SeqGAN を用いたシステム応答生成に利用することで、より文脈に沿った応答生成ができるかを検証する。